

中学 1 年 国語 「今に生きる言葉」

ねらい

故事と現代の出来事を結びつけることができる。

学習展開（5 時間）

【1 時間目】

- ・矛盾を音読み、漢文のリズムや言い回しに慣れる。

【2 時間目】

- ・矛盾、推敲、蛇足、四面楚歌の意味と、由来となったエピソードを調べる。

【3 時間目】

- ・30 の故事成語の意味を調べる。

【4 時間目】

- ・30のうちから 1 つ故事成語を決める。
- ・故事と結び付けた自己体験文を書く。

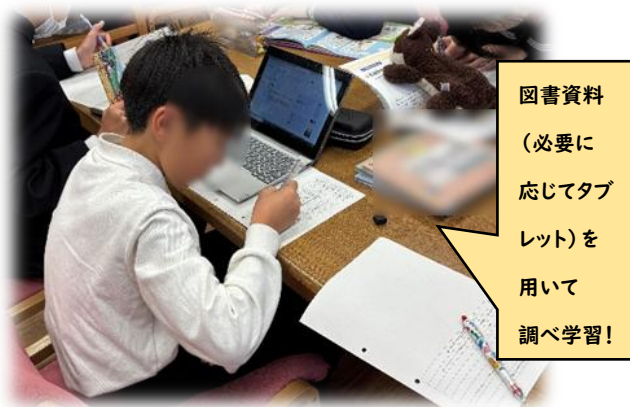
【5 時間目】

- ・自己体験文を書く（続き）。
- ・体験文を共有する。

指導のポイント

- ①言語活動を自己体験文とすることで、生徒の意欲向上につながった。
- ②教科書や図書、タブレットなど、故事成語の意味や由来について調べる手段を 生徒に選択 させた。
中国の故事を理解するのに苦戦していた姿も見られたが、確かな情報が得られ、絵や漫画で紹介されている図書がやはりわかりやすく、生徒もよく用いていた印象 だった。
- ③故事が現代にもつながっているということを理解し、自分の体験と結び付ける力がついた。

授業の様子



図書資料
(必要に応じてタブレット)を用いて調べ学習!



図書は絵や図があるから、難しい故事を理解するのにとても役立つ!

【生徒たちの声】

- ・教室より図書館で授業するほうが楽しい。
- ・絵で見て(故事を)やっと理解できた。
- ・すぐ友達と相談したり共有したりできるから、作業がはかどる。など

学校図書館との関わり

- ・授業で用いる図書資料の準備(司書)
- ・準備した資料を授業者と司書で確認
- ・故事の詳細な由来を調べることに活用
- ・授業で使用する図書資料を活用し、成果物の教師モデルを作成(授業者)